

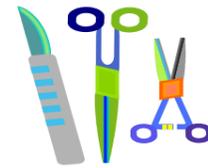
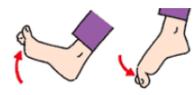
大腿骨頸部骨折(人工骨頭置換術)を受けられる方へ

病名:

様

主治医

説明日:平成 年 月 日

月日	入院当日・手術前日	手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2~7日目	術後8日目~	退院日
治療・診察など (点滴・内服を含む)	★主治医・担当麻酔医から手術についての説明があります ★今までの服薬を看護師にお預けください 持参薬を続けるか医師に確認します 	場合によっては ★寝る前に、必要時下剤を内服して頂きます ★寝る前に、希望で睡眠薬を内服して頂きます	★手術当日朝の内服内容は麻酔科医より説明があります 朝の内服 ★()時ごろ点滴を行ないます	★酸素マスクで、指示があるまで酸素吸入をします ★基本、翌日まで持続で点滴をします ★心電図モニターがつきます ★傷口に管がはいります ★足に循環を良くする器具がつきます	★医師の許可があれば心電図モニターを外します ★術後3日目までベッド臥床時は酸素吸入をします ★抗生剤の点滴は基本的に2~3日続きます ★貧血が強い場合には輸血を考慮します ★朝から内服を再開します	★傷口の状態は適宜医師・看護師が回診時に確認します ★毎週火曜日(祝日除く)は医師の回診日です(14時~15時頃)	★状態をみて傷口をぬっている糸を抜きます 	★退院は原則朝10時となっています ★転院の場合は事前に出発時間・移動方法が決定します ★診察券を看護師から受け取って下さい
処置	★手術に必要なものです ご用意下さい ・ティッシュペーパー・ウエットティッシュ ・ストロー付のマグカップ ・オムツ・バスタオル ※コンビニで購入できます	★看護師が準備品の確認をします	★術衣に更衣します ★コンタクト、義歯、ヘアピン、湿布などは外して下さい ★時計、指輪などの装飾品は外し、現金などの貴重品と共に家族の方へお預け下さい	★脱臼予防のため、医師の許可があるまで両足の間に三角形の枕をはさんで過ごしていただきます 	★弾性ストッキングを装着していただきます	★手術した方の足を自力で持ち上げることができるようになり、医師の許可があれば三角の枕を外します ★傷口に入っている管は、出血量を確認し医師判断で抜きます		
検査	★採血・レントゲン・心電図などの検査があります ★病棟でSpO2測定をします				★朝、採血があります	★術後3・7・14日目に採血があります(予定) ★術後7日目にレントゲンを撮ります		
安静	★ベッド上安静ですが、痛みの程度でベッドの背もたれを上げることはできます		★手術室に入るまで安静にしてお待ち下さい	★血栓症予防のため、痛みに応じて足の運動をして下さい 	★痛みの範囲内でベッドの背もたれをあげていっても結構です	★状態に応じて車いすに乗ることができます		
リハビリ	★担当理学療法士が決まります(予定)				★理学療法士の指導によるリハビリが開始されます	★リハビリ室での訓練がスタートします 	★起き上がり→立ち上がり→歩行訓練と理学療法士が確認しながら、リハビリが進みます ★必要に応じ作業療法士の日常生活動作指導があります	
食事	普通に食事ができます	★麻酔医の指示に従い、絶飲食となります()時より絶食です・()時より絶飲食です	★医師の許可があれば、看護師がお腹の動きを確認した後、飲水が可能となります	★朝から食事が開始となります	★看護師が体を拭きます ★尿の管が抜けトイレに行けるまで毎日陰部洗浄をします	★術後1週間を目安に医師の許可があれば、傷を防水保護しシャワーができます		
清潔	★体を拭きます	★化粧・マニキュア・ジェルネイル(手足とも)などは落として下さい				★なるべく早く、おしっここの管が抜けて、車椅子でトイレに行けるように頑張りましょう		
排泄	★ベッド上で行います ★原則おしっこの管を挿入します							
患者様及び御家族への説明	★義歯がある場合は看護師に申し出て下さい ★血栓症予防についての説明があります ★同意書に署名し、看護師に提出してください ★看護師が入院生活・手術前後の説明をします ★手術室の看護師から説明があります ★薬剤師による薬剤指導は適宜ありますが、お聞きになりたいことがあれば看護師に声をおかけください ★手術後すぐにリハビリが始まります はきやすい靴を準備してください		★手術開始時間は()時()分です ご家族の方は30分前までに来院してください ★手術所要時間は()時間予定です 都合により前後することがありますのでご了承ください	★使用麻酔()麻酔 ★手術後()に帰室します ★ご家族様は手術終了までデイルームでお待ちいただきます ★ICU入室予定の患者様のご家族様はICU控室へご案内します ★手術が終了次第、医師から説明があります	 ★今後、転院が必要となる方にはMSWが介入します	★今後の方針について医師より説明があります		★次回の受診日と会計について、事務員から説明があります

◇ 総合的機能評価

神戸赤十字病院 整形外科 2019年3月 改訂

パス管理番号 13-041